

開催協議会名	令和6年第3回隠岐の島警察署協議会		
開催日時	令和6年10月11日（金）午後1時30分から午後3時00分まで		
出席者	協議会委員	4人（松岡会長、山根副会長、柳原委員、石川委員）	
	警察署	10人（次長、生活安全刑事課長、警備課長等）	
会議・協議	署長からの 諮問等	諮問事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 警察官・警察職員の採用試験受験者の獲得方策について</li> <li>2 若手職員の離職防止について</li> </ol>
		説明内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本協議会は、署長が所用のため欠席したものの、事前に各委員に隠岐の島町における今年度の採用募集活動の現状及び県警での若手職員の離職について説明をした上で開催した。</li> <li>2 協議事項に先立ち、協議会委員には、若手職員の現状を把握してもらうため、当署の20代警察官・警察主事5人と約30分間の意見交換を行った。</li> </ol>
	答申（意見等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 先ほど、若い方に話を聞いて感じたが、小さな頃からの憧れや思いが、警察官になった理由として強いなと感じた。憧れて自ら就職を決めた人はそう簡単には辞めないと思う。 そうであれば、受験対象年齢に近い方だけでなく、小・中学生に格好いい警察官の凛とした姿を見せることで憧れを持つ子供を増やすのはどうか。</li> <li>2 先日、西郷小学校に音楽隊が来てくれて子供たちが喜んでいました。楽器演奏等の特技や趣味が警察の中で、音楽隊など業務に生かせるということをアピールしてはどうか。 女性職員から、子供や女性の被害防止や支援に興味があると聞いたが、そういう気持ちを生かせる部門や業務があることも伝えたら警察に興味を持たれるのではないかと。</li> <li>3 小さい頃からの憧れや、身近な存在、自分の体力を生かせる仕事というイメージで警察</li> </ol>	

を選んだ方が多いと感じた。そうであれば5年10年と長期スパンで考え、小学校の「キャリア教育」单元等の機会を活用してはどうか。人の役に立つ仕事、暮らしを守る仕事という单元に入ると思う。小さな頃から警察の仕事に興味を持って接していれば抵抗なく就職の候補になるのでは。

また、中学生になると職場体験が必ずある。隠岐空港では、JALのパイロットが中学生と話をしたり、コックピットを見せたりして人気が高い。警察でも職場体験を積極的に受け入れて、まずは警察に興味を持たせることから始めてはどうか。

自分の地区では、駐在所員と子供たちの関係が近くていいと思う。地元の小中学生のマラソン大会に他の保護者と同じ目線で、制服のまま沿道に出て応援してくれたりしていて、子供たちの警察に対するイメージがとても良いと思う。

- 4 子供たちが犯罪抑止や交通安全など警察の仕事を学ぶ機会が増えれば自然と将来に犯罪を起こさない方向に進むのではないか。例えば、ヘルメットの着用を普及させるにはどうしたら良いのか自分たちで考えることで交通安全に興味を持ちその延長で警察官になろうと思う人も出てくると思う。
- 5 自分の子供や孫が隠岐の島に残ってくれたらうれしいという住民は多くいると思うが、子供が小さな頃から憧れている職業に就けるならそれを応援しない親はいないと思う。教員には隠岐の島勤務枠があるが、警察にもあればどうだろうか。
- 6 先ほどの意見交換では、警察官になったことで親が非常に喜んでいるから、辞めることは考えていないと言われた。身近な人の期待に応えることややりがいを感じる事が大事だと思う。
- 7 職場の人間関係が離職の一番の原因ではな

いだろうか。休暇等の職場環境も一因と思うが、先ほどの若い方々は「隠岐は休みが取れる」と言っていた。若い人にとっては、気軽に休暇を取得できない環境が辛いこともあるので、隠岐の島署の職場環境は良いのではないかな。

8 同期が辞めた人の話では、辞める前には同期にも相談があったり、辞めないと決めた理由には同期で励まし合ったりなど、人間関係に左右されるところが大きいと思う。親御さんが警察への就職をととても喜んで送り出してくれたので、その期待に応えたいという思いを聞くと、家族の理解や支えが重要な要素であると思う。

9 隠岐の消防も辞める人がいると聞く。警察や消防は命にも関わる職業なので優しいだけではだめだと思うし、逆に厳し過ぎてもだめだと思う。

10 社会人向けのオープンキャンパスはどうか。一度別の業種についていても、収入や安定的な生活を求めて転職を考えている社会人もいるのではないだろうか。

**【警察】**

いただいた意見を元に、長期的な視野を持って警察のイメージアップにつながる活動にも配意するとともに、子供たちに警察の業務が身近に感じるよう働きかけていきたい。

**委員からの  
意見・提言**

**【委員】**

隠岐病院とショッピングセンターの間の道路で、横断歩道のない場所を横断する歩行者が多い。現在工事中で曲がりくねっているため、車の速度は落ちているが、発見が遅くなれば人身事故につながると思う。

パトカー等がいれば歩行者も危険な横断を諦め、横断歩道のある位置まで行ってきちんと渡るので、周辺のパトロールを強化していただきたい。

**【警察】**

現在、道路工事中であり歩行者の皆さんは不便かと思うが、道路が完成すれば横断しやすい道路になると思うし、道路管理者にはそのように進言したい。

事故の未然防止のため、同所については、警察官も意識して巡回することとしたい。

**【委員】**

本日のように若い署員と対話することは、非常に新鮮で良かった。若い方がどのような気持ちで警察職員を目指したのか、今どういう気持ちで勤務しているのかがよく分かり、警察署を応援していきたくなった。今後もいろいろな署員と話ができれば、もっと気軽に警察活動に対する意見が出るかもしれない。

**【警察】**

年4回開催する協議会のうち1回程度は若手署員や幹部以外の署員の出席を検討したい。

写 真



**【会長挨拶】**



**【協議状況】**